

ごみ収集作業の魅力

実労働時間が少ない

ごみ収集作業はルートが決まっており、時間内に終了するように予定が組まれています。

ごみ収集作業の実労働時間は1日5~6時間ほどと、他職種と比較しても少ない傾向にあります。

作業時間以外は、待機や休憩をしています。

そのため、残業がほぼありません。

ごみ収集作業員の求人を見ると、ほとんどの求人で残業なしをアピールしている通り、大きなメリットの一つと言えるでしょう。

一般的に、8:00前後に業務開始、15:00~16:00の間には業務が終了します。

ごみ収集作業の仕事が終われば帰宅し、プライベートを充実させることができます。

安定している

民間で一般ごみの収集をおこなっている場合、自治体から業務を委託されていることが多いため、仕事が安定的にあります。

ごみは家庭や企業から出続けますし、景気によってなくなることはありません。

倒産のリスクが少なく、長く働き続けることができます。

業績が良い委託業者が多いため、賞与や退職金などの福利厚生にも期待できるでしょう。

清潔な状態で帰宅できる

ごみ収集作業員は1日の作業を終えると、自社に戻り、シャワーを浴びてから帰宅することが多いです。

仕事帰りにどこかに寄りたい場合でも、清潔な状態で立ち寄ることができます。

担当やルート先のごみ置き場によっては、さほど汚れや臭いにつかないこともあり、あまり気にしない人も多いようです。

作業服は会社から支給されますので、自前の服を汚してしまうこともありません。

なお、アルバイトも同じく作業服を支給することが多いことので、清潔な状態で帰宅することができます。

コスパの良い仕事

ここでは民間を例にとりますが、ごみ収集作業員の初任給相場は16万円~22万円ほどと、基本給自体はさほど高くないと言えます。

特に地方の作業員であれば、20万円に満たない求人が珍しくありません。

「ごみ収集作業員はけっこう稼げる。」

こんな話を聞いたことがある人もいるでしょう。

これは、公務員のごみ収集作業員のことを指していることが多いのですが、民間の作業員についても「悪くない。」と言える一面があります。

実は、基本給以外に各種手当がつき、退職金もありますので、時間単価に換算すれば高時給になるのです。

長く勤める人が多いため、年齢によって基本給も上がっていきます。

さらに、残業がほぼない、業務自体の複雑さが点なども考慮すると、コスパ良く稼げる仕事だと言えます。

なお、府内のごみ収集作業員は、民間でもかなり稼ぎやすい傾向にあります。

ごみ収集作業員の給与は、都会と地方で大きな差がある点も押さえておきたいところです。

学歴や経験を問われない

ごみ収集作業員の求人では学歴や経験を問われないことが多くあります。

未経験の場合でも研修がありますし、同乗者と一緒に作業しますので、一人で困るということはありません。

通常は、ドライバーを含めて2人~3人1組で作業にあたる人が多いです。

作業自体はシンプルですから、学力や頭の良さが求められることもありません。
これは、多くの人にとって応募のチャンスがある仕事であることを示しています。
少しでも興味のある人は挑戦してみると良いのではないのでしょうか。

ごみ収集作業員の求人を探す方法

ごみ収集作業員に転職するには、公務員になるか、民間の委託業者へ転職するかのいずれかが考えられます。
公務員を希望する場合は自治体の HP から採用ページにアクセスし、詳細を確認しましょう。

民間の委託業者に転職する場合、一般的な転職活動と同様に、ハローワーク、転職サイト、転職エージェントなどの媒体で探すことになります。

希望の地域で有名な廃棄物会社などがあれば、企業 HP から直接探す方法もあります。

中でも、転職エージェントを使った転職活動がおすすめです。

なぜなら、ごみ収集作業員は定着率が高いため、求人自体が多くなく、主には欠員募集になるからです。

ハローワークや転職サイトを使って自力で探すとなると、なかなか求人が見つからずに非効率です。

今の仕事を続けながら転職活動をする人は、特に効率を重視した活動が求められるため、転職エージェントが向いているのです。

あらかじめ希望の職種や条件を伝えておけば、求人がでたタイミングで紹介してもらえることも多いため、今の仕事と十分に両立しながら活動を進めることができるでしょう。

最後にいかがでしたでしょうか。

今回は、ごみ収集作業員をテーマに、必要なスキルや資質、仕事の大変さや魅力など、仕事事情を紹介しました。

汚い、きついといったイメージを持たれやすいですが、残業がほとんどなく雇用が安定しているなど、メリットが大きい仕事でもあります。

ごみ収集作業員の求人は人気が高く、すぐに埋まってしまうことが多いため、気になる求人を見つけたら早めに動き出すようにしましょう。